

# 国立国語研究所学術情報リポジトリ

表紙, 目次, 奥付, その他

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2017-03-31 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	<a href="https://repository.ninjal.ac.jp/records/1166">https://repository.ninjal.ac.jp/records/1166</a>

国立国語研究所報告 110 研究報告集 16 (1995)

# 研究報告集

— 16 —

国立国語研究所

1995

# 目 次

## 発話をもたらす対人効果の研究 (1)

——投書におけるメタコミュニケーション行動の分析——

……尾崎 喜光…… 1

## 敬語行動と規範意識

——肥筑方言域における言語行動調査から—— ……吉岡 泰夫…… 33

岩手県種市町平内方言の用言の活用 ……………大西拓一郎…… 57

ノイズに埋もれた漢字と仮名の認知 ……………横山 詔一…… 99  
米田 純子

富良野市におけるガ行鼻音の動向 ……………相澤 正夫…… 121

## 方言終助詞の意味分析

——富山県砺波方言の「ヤ／マ」「チャ／ワ」—— ……井上 優…… 161

朝鮮語 했다形、해 있다形 (하고 있다形) と日本語シタ形、シテイル形  
……生越 直樹…… 185

## 刊行のことば

『研究報告集』は、国立国語研究所において、研究員等がそれぞれの研究段階で行った基礎的研究や付随的研究、また研究方法に関する実験的調査、結果を確認するための検証調査等についての小報告をまとめて公にするものです。

今回は、7編の論文をもってその第16集とし、刊行することにしました。国語研究に寄与することができ、また教示、批判が得られれば幸いです。

平成7年3月

国立国語研究所長 水谷 修

## 第1集

- 「も」によるとりたて形の記述的研究 高橋太郎  
雑誌九十種資料の漢語表記 宮島達夫・高木翠  
談話行動の実験社会言語学的研究  
— 目標と資料収集方法について — 江川 清  
身ぶりの記述について 江川 清  
身振りを記録する — 「変位」の記録表試案 — 杉戸清樹  
談話行動の計量的研究について 米田正人  
表現法の調査方法について 佐藤亮一・真田信治・沢木幹栄  
明治初期東京人の階層と語種との関係  
— 『安愚楽鍋』を中心として — 飛田良文

## 第2集

- 意味分野と語種 宮島達夫  
日本語の機能動詞表現をめぐって 村木新次郎  
談話行動の総合テキストについて  
南 不二男・江川 清・米田正人・杉戸清樹  
文章朗読における調査上の特徴について 高田正治  
幼児の使用語の意味と理解  
— 満2歳児の一日調査から — 大久保 愛  
語の意味発達 — 最近の研究動向から — 岩田純一  
談話における「はい」と「ええ」の機能 日向茂男  
音韻論における日本語五母音体系 石井久雄

## 第3集

- コ・ア・ソの指示領域について 高橋太郎・鈴木美都代  
叙法副詞の意味と機能 — その記述方法を求めて — 工藤 浩  
私生児を意味する方言のこと 渡辺友左

撥音の実験音声学的研究	高田正治
新聞の漢字含有率の変遷 — 明治・大正・昭和を通じて —	梶原滉太郎
就学前幼児の語彙 — 4児による日常生活語の実態 —	大久保 愛・川又瑠璃子
各種文章の字種比率	佐竹秀雄

#### 第4集

迂言的なうけみ表現	村木新次郎
動詞とその下接語の発達の実態	
— 男児の2歳から3歳前半まで —	大久保 愛
小学校低学年用国語教科書の用語	島村直己
分散処理端末における簡易型エディタについて	斉藤秀紀

#### 第5集

「～がある」の用法	
— (あわせて)「人がある」と「人がいる」の違い —	高橋太郎・屋久茂子
雑誌九十種資料の外来語表記	宮島達夫・高木翠
敬語の使い分け点	野元菊雄
津軽方言における単純疑問と疑問詞疑問	沢木幹栄
スカウト方式による用例採集法の実験について	高梨信博
漢字の読み書き調査の調査方法	
— 調査問題の作成方法の検討を中心に —	島村直己
会話形式によるファイル管理情報の生成	斉藤秀紀
有形代名詞と無形代名詞	
— 日本語とインドネシア語の比較 —	正保 勇
日本語と外国語との照応現象に関する対照研究	
上野田鶴子・正保 勇・田中 望・菱沼 透・日向茂男	

## 第6集

- 敬語のパネル調査から（その1） — 合計段階点と適応点 — 野元菊雄  
促音の調査上の特徴について 高田正治  
一児童の漢字習得 村石昭三  
漢字コードの拡張法に対する試案 斎藤秀紀  
概念情報処理 田中卓史  
倒置構文に関する一考察  
— 日本語とインドネシア語との比較 — 正保 勇  
ドイツ語挨拶表現の類型化操作について 石井久雄

## 第7集

- 公文書のあて名の敬称 — 一般個人あての場合 杉戸清樹  
読みの眼球運動と読みの過程 神部尚武  
小学校配当漢字外常用漢字の読み  
— 中一、高一を対象にした自己判定方式に  
よる調査の結果から — 島村直己  
同形異語判別への仮名漢字変換後処理の応用 — 斎藤秀紀  
受動構文に関する一考察  
— 日本語とインドネシア語との比較 — 正保 勇  
あるラテン語動詞活用表 石井久雄

## 第8集

- 標準語オトウサン・オカアサンの出自 渡辺友左  
『日本言語地図』関連意味項目の全国方言調査 小林 隆  
— 語史構成を目的とした、文献国語史との対照における  
意味的視野からの必要に基づいて —  
児童の漢字使用 — 課題作文の漢字含有率から — 島村直己  
光ディスクを使用した大量日本語データの蓄積 斎藤秀紀

話者の価値判断 — その含意性と異言語への伝達の問題 — 西原鈴子  
追加付加詞と追加接合詞に関する一考察

— 日本語とインドネシア語との比較 — 正保 勇

## 第9集

本文批判 石井久雄

漢字情報データベース 斎藤秀紀

集合型言語の確定節文法 田中卓史

異言語間伝達における結束性の移行 西原鈴子

述語補文について — 日本語とインドネシア語の場合 — 正保 勇

日本語における重なり語形の記述のために 日向茂男

## 第10集

コソアド代名詞はどんなものをさしうるか

— 直接的な用法の場合 — 高橋太郎・鈴木美都代

読みの眼球運動における一つの停留中の情報の受容範囲 神部尚武

ダイナミックパラトグラフィによる青森方言の分析 高田正治

児童の漢字学習 — アンケート調査の結果から — 島村直己

キーの階層性を利用した異なる日本語データベースの統合 斎藤秀紀

日本語動詞自・他の意味的対応(1)

— 多義語における対応の欠落から — 沼田善子

## 第11集

『中央公論』1986年の用語 石井久雄

大学一般教育における「文学」「言語学」 島村直己

北海道における共通語使用意識

— 富良野・札幌言語調査から — 相澤正夫

インドネシア語の定名詞句と不定名詞句



- 日本語との比較を通して観た — 正保 勇  
「日本語研究文献目録・雑誌編」にみる国語研究の動向 山崎 誠  
シンポジウム・これからの日本語研究

## 第12集

- 雑誌九十種資料の和語表記 宮島達夫・高木 翠  
パソコンによる語の認定処理 中野 洋  
言語行動を説明する言語表現  
— 専門的文章の場合 — 杉戸清樹・塚田実知代  
方言東西対立分布成立パタンについての覚え書き 小林 隆  
語彙理解調査の方法 — テストの信頼性・妥当性, 理解尺度  
の適合性, テスト項目の数 — 島村直己  
生きているアクセント規則の検討  
— 東京語の単純動詞とその転成名詞の場合 — 相澤正夫  
発話分析の観点 — 多角的な特徴記述のために — 中田智子

## 第13集

- 言語研究におけるシソーラスの利用 宮島達夫・小沼 悦  
昔はどう言ったかと, 知りたいとき 石井久雄  
「天文学」の語史 梶原滉太郎  
仮想視点からの作文 若林健一・茂呂雄二・佐藤至英  
「国語関係新聞記事データベース」について (中間報告)  
井上 優・辻野都喜江  
進行中のアクセント変化 — 東京語の複合動詞の場合 — 相澤正夫  
会話の方策としてのくり返し 中田智子

## 第14集

- 引用の助詞「と」の用法を再整理する 山崎 誠

言語行動を説明する言語表現

— 公的なあいさつの場合 —

杉戸清樹・塚田実知代

「温度計」の語史

— 近代漢語（Aタイプ）の変遷と定着 —

梶原滉太郎

近代日本のリテラシー研究序説

— 付・文献目録 —

島村直己

日本語談話研究の現状と展望

茂呂雄二・小高京子

『日本語教育のための基本語彙調査』と複合サ変動詞

相澤正夫

発話における「タイミング考慮」と「矛盾考慮」

— 命令文・依頼文を例に —

井上 優

会話の自然さについて

— 日英対照研究の視点から —

佐々木倫子

「謝る」 — 日・タイの謝ることばと行動の比較 —

堀江・インカピロム・プリヤー

## 第15集

基本度関数について

木村睦子・山田雅一

国定読本における類義語の現われ方

— 「うつくしい」と「きれい」 —

加藤安彦

海外のテキスト・アーカイヴにおける管理・運営上の問題点について

— アンケート調査報告 —

伊藤雅光

国立国語研究所所蔵新聞記事を利用した研究について（覚え書）

井上 優・池田理恵子・辻野都喜江

ガ行鼻音保持の傾向性と含意尺度

— 札幌市民調査の事例から —

相澤正夫

いわゆる非分析的な否定疑問文をめぐって

井上 優

会話スタイルとレポート

— 日英・若い女性の座談例から —

佐々木倫子

平成7年3月

## 国立国語研究所

〒115 東京都北区西が丘3-9-14

電話 03-3900-3111(代表)

FAX 03-3906-3530

UDC 809.56(082)

NDC 810.5

本書の市販品発行所

〔〒112〕東京都文京区関口1-24-4-302 (03)3260-5281

株式会社 秀英出版

OZAKI Yoshimitsu: A Study of the Interpersonal Effects of Utterances  
(1) : An Analysis of Metacommunication Data from Readers' Columns

YOSHIOKA Yasuo : On the relationship between Consciousness of Norms  
and Honorific Expression in Japanese : From the Language Survey of  
Hichiku Dialect

ONISHI Takuichiro: Conjugations of Verbs, Adjectives and Adjectival  
Verbs of the Taneichi-Hiranai Dialect in Iwate Prefecture, Japan

YOKOYAMA Shoichi and YONEDA Junko: Recognition of Kanji and  
Kana with Additive Noise

AIZAWA Masao : The Drift of the Nasal Allophone of / g / in Japanese  
toward disappearance in the Furano Dialect, Hokkaido

INOUE Masaru: Semantics of Sentence Final Particles in the TONAMI  
Dialect (TOYAMA Prefecture): YA/MA and TYA/WA

OGOSHI Naoki: Tense and Aspectual Systems in Korean and Japanese:  
HAISSDA, HAI 'ISSDA / HAGO 'ISSDA and SI-TA, SI-TEIRU

THE NATIONAL LANGUAGE RESEARCH INSTITUTE

3-9-14 NISHIGAOKA, KITA-KU, TOKYO

1995